

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	47 沖縄県
市区町村名	47348 与那原町
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位数	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
47348 与那原町	③ 学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	従来の「見守り」に「講座」を組み合わせたハイブリッド型の運用を導入したが、提供する講座内容によって児童の興味・関心に異なる偏りが生じており、特定の活動において参加意欲が低下し影響化している点が、継続的な改善を要する現状の課題である。	講座内容による興味の偏りに対し、意欲が低下した児童へ個別の声掛けや講座の意義について丁寧な説明を行うとともに、保護者へも協力を仰ぎ、地域・家庭の両面から受講に対する前向きな意識を醸成できるよう取り組んだ。	令和6年度は「見守り」を基本としつつ、不定期にワークショップ等の多様な体験機会を設けた。実施に関しては、児童が極めて高い集中力で主体的に取り組む姿が見られ、こうした体験の積み重ねが、令和7年度から本格導入する「講座形式」への円滑な移行に向けた有効な動機付け(プレ実施)になったと分析している。	児童のニーズに合致した講座展開と選択制の定着により、受講に対する納得感を高め、年間を通じた高い参加率の維持および、意欲低下に起因する中途欠席の解消を図る。	各講座における児童の平均参加率。	64%	80	70	02 本年度は、各講座の平均参加率が目標を下回る結果となったが、その要因である保護者の意向と非道の受講意思の乖離を解消するため、次年度は申込段階での本人意思の確認徹底を保護者へ強く働きかけるとともに、児童が主体的に参加したくなる環境整備や声掛け等の外部サポートを充実させ、参加意欲の向上と活動の活性化を図る。		

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。